

**令和4年度 JST情報サービス利用者の満足度調査
(J-STAGE利用機関向け)**

■ 目次

■ 目次	1 頁
■ 調査概要	2 頁
【調査結果 詳細】	
■ J-STAGE 情報発信に役立っているか	4 頁
■ J-STAGE 情報発信に役立っている理由	5 頁
■ J-STAGE 情報発信に役立っている機能	6 頁
■ J-STAGE 情報発信に役立っていない理由	7 頁
■ J-STAGE 外部サービスの中で、インデックスされることで発信力の強化につながるもの	8 頁
■ J-STAGE 全文XML 登載状況	9 頁
■ J-STAGE 全文XML 登載によって得られた、あるいは期待できる効果	10 頁
■ J-STAGE 全文XML 登載で感じているデメリット、全文XML 登載を利用していない理由	11 頁
■ J-STAGE 全文XML 作成ツール利用状況	12 頁
■ J-STAGE 全文XML ツールを利用していない理由	13 頁
■ J-STAGE 全文XML ツールにどのような改善がされれば使いたいと思うか	14 頁
■ J-STAGE 論文に関連する研究データの公開についての考え	15 頁
■ J-STAGE 論文に関連する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めているか	16 頁
■ J-STAGE Data 利用状況	17 頁
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、知っていたもの	18 頁
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、役に立ったもの	19 頁
■ J-STAGE APC (論文掲載料) 設定	20 頁
■ J-STAGE 著作権の規程	21 頁
■ J-STAGE 査読方式	22 頁
■ 役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービス	23 頁
■ J-STAGE ダッシュボード機能の機能拡張について意見・希望	24 頁
■ J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容	25 頁

■ 調査概要

調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

調査対象

J-STAGEで資料を公開している機関

サンプル数

281件

調査手法

インターネット調査

調査期間

2023年1月13日（金）～2023年2月13日（月）



調査結果 詳細

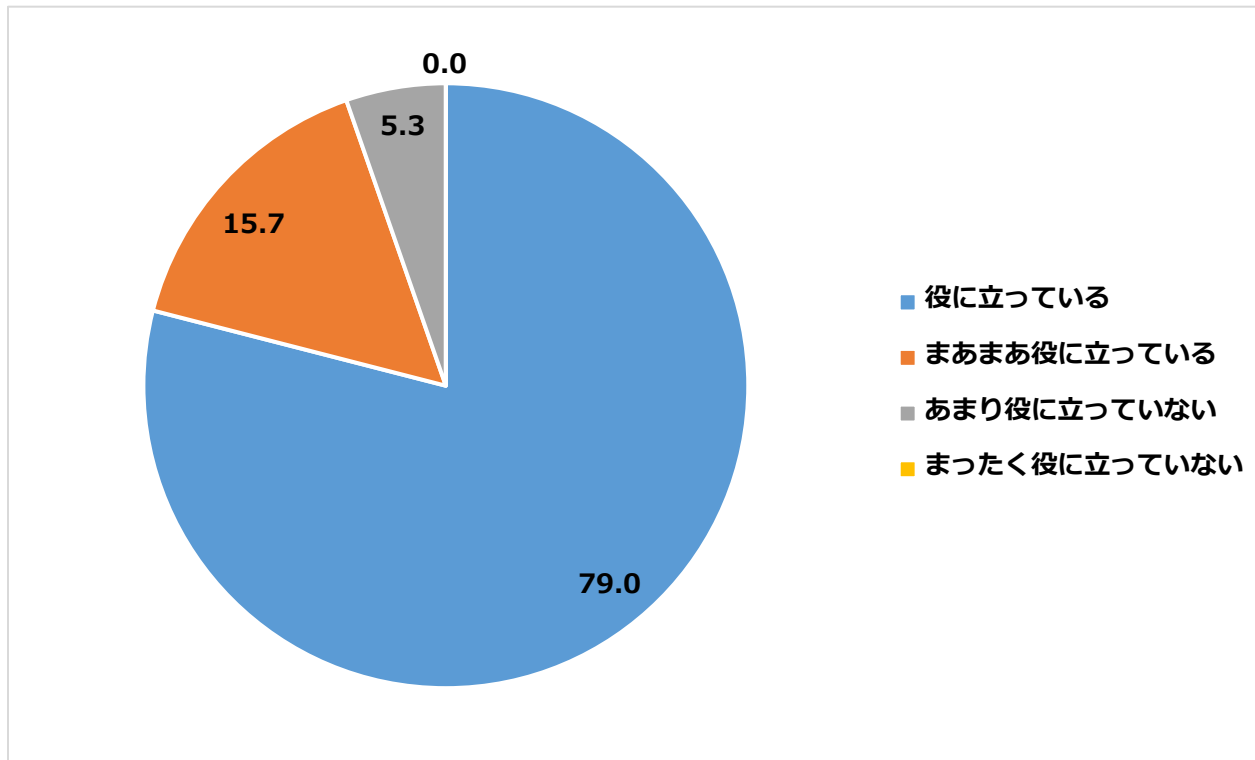
■ J-STAGE 情報発信に役立っているか

設問1. J-STAGEは貴誌の情報発信に役立っていますか。【1つ選択】

● J-STAGEの役立ち度は、「役立っている」が79.0%、「まあまあ役立っている」が15.7%。ポジティブな回答が94.7%を占め、大多数が満足した様子が見える。

N=281

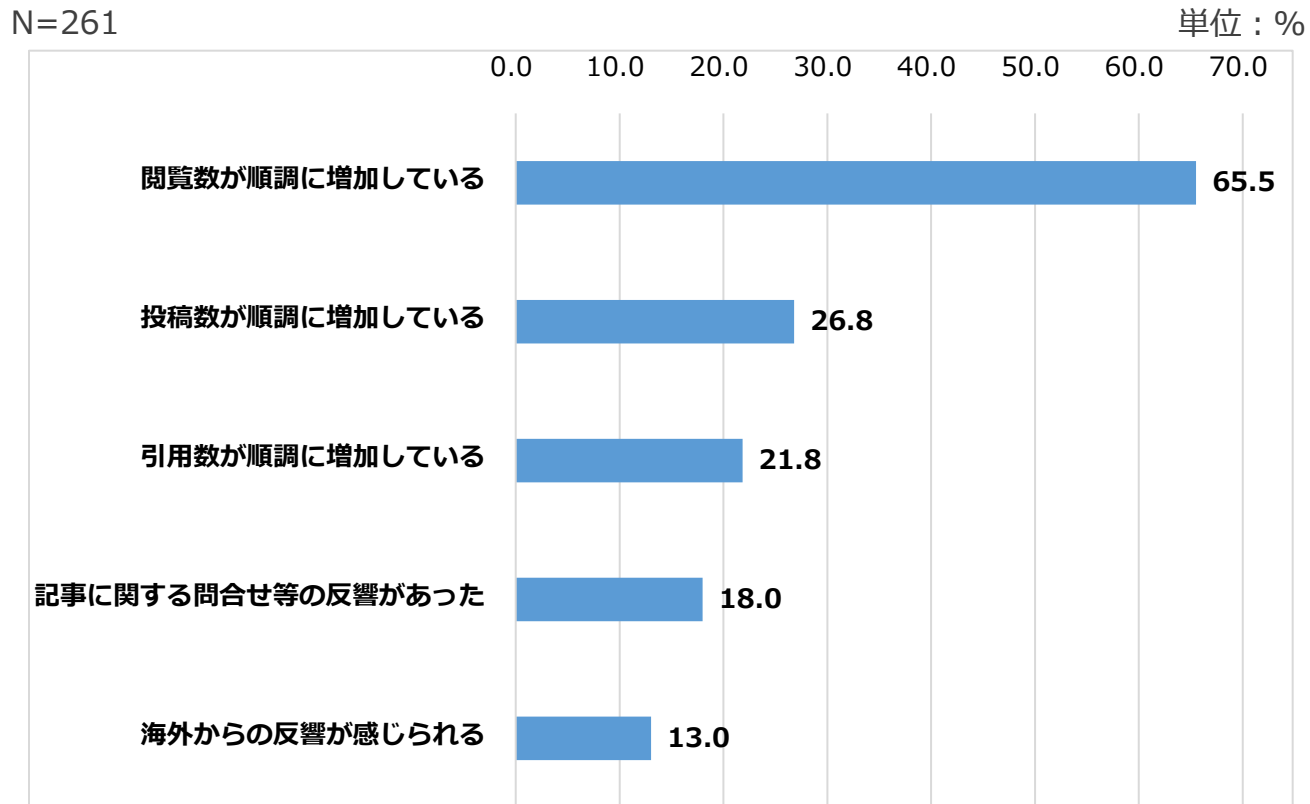
単位：%



■ J-STAGE 情報発信に役立っている理由

設問2. J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っている理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが情報発信に役立っていると考えている理由は、「閲覧数が順調に増加している」が65.5%と最も高く、次いで「投稿数が順調に増加している」の28.6%、「引用数が順調に増加している」の21.8%の順に続いている。



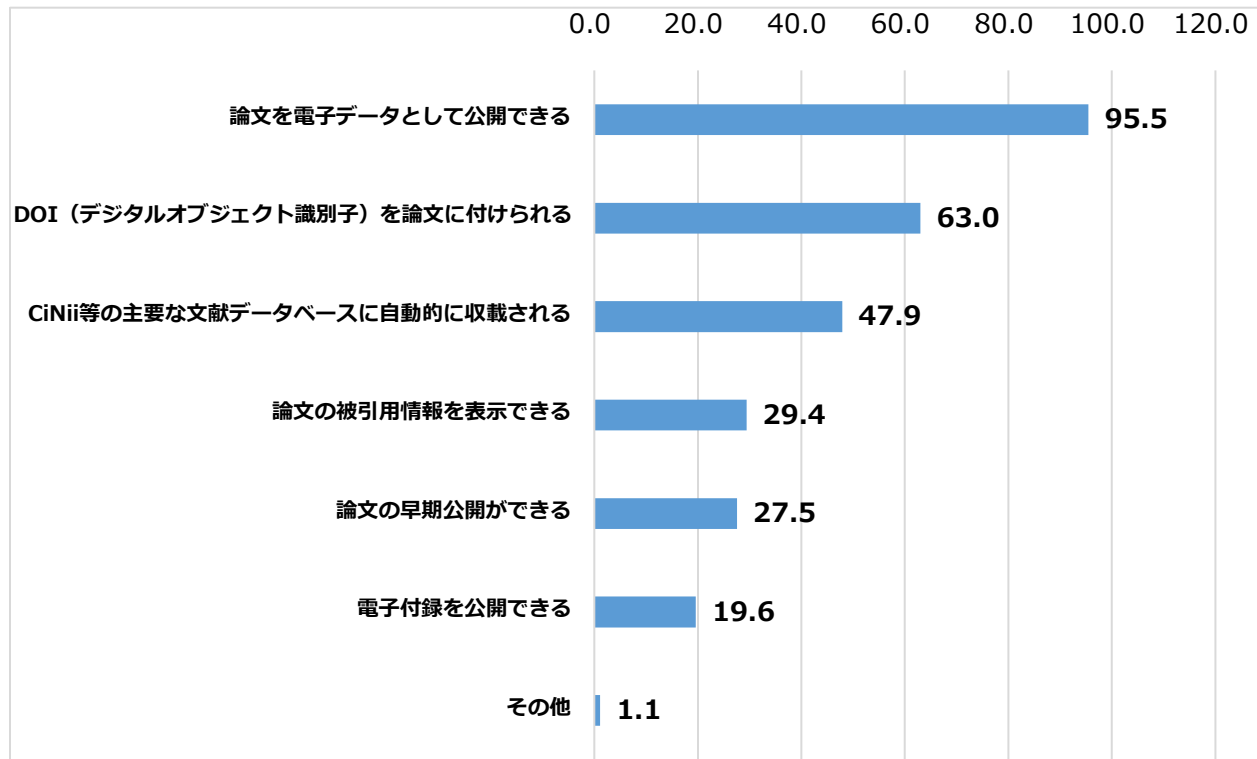
■ J-STAGE 情報発信に役立っている機能

設問3. J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていると思われる機能を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが情報発信に役立っていると思われる機能は、「論文を電子データとして公開できる」が95.5%と最も高く、次いで「DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる」の63.0%、「CiNii等の主要な文献データベースに自動的に収載される」の47.9%の順に続いている。

N=265

単位：%



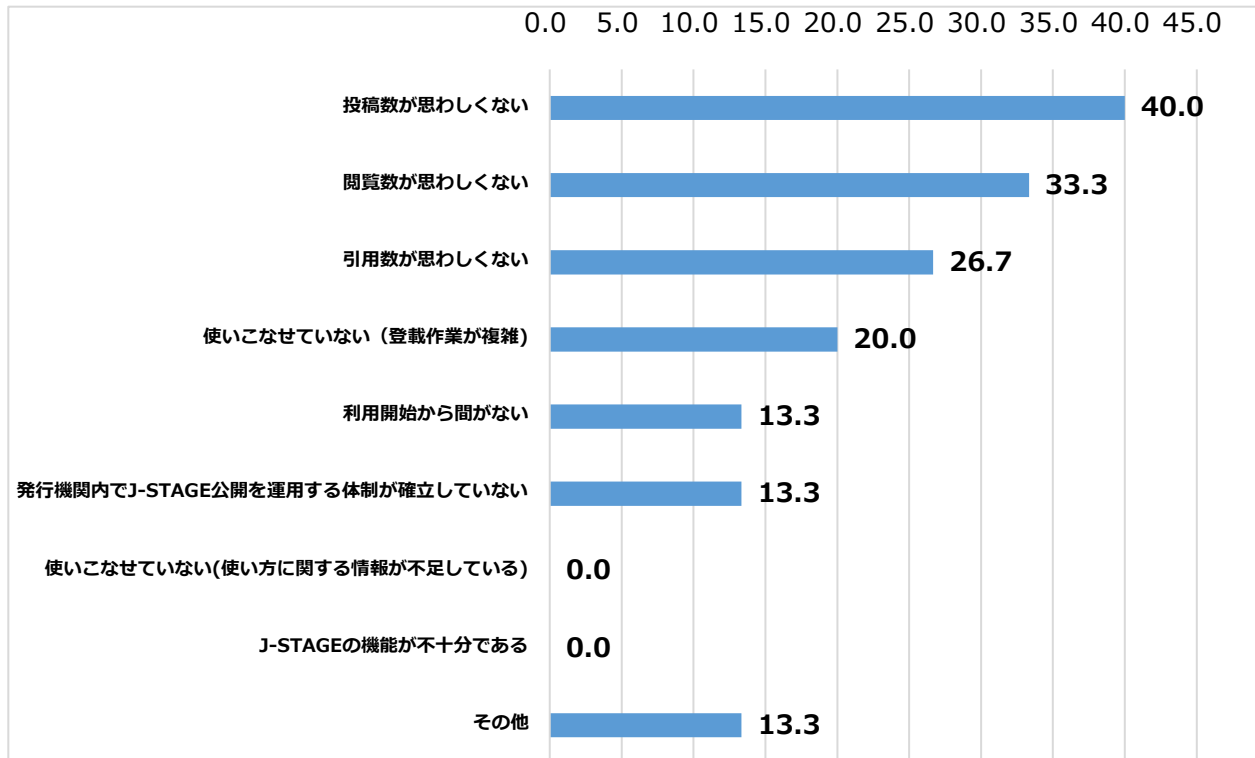
■ J-STAGE 情報発信に役立っていない理由

設問4. J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていない理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが情報発信に役立っていないと考えている理由は、「投稿数が思わしくない」が40.0%と最も高く、次いで「閲覧数が思わしくない」の33.3%、「引用数が思わしくない」の26.7%の順に続いている。

N=15

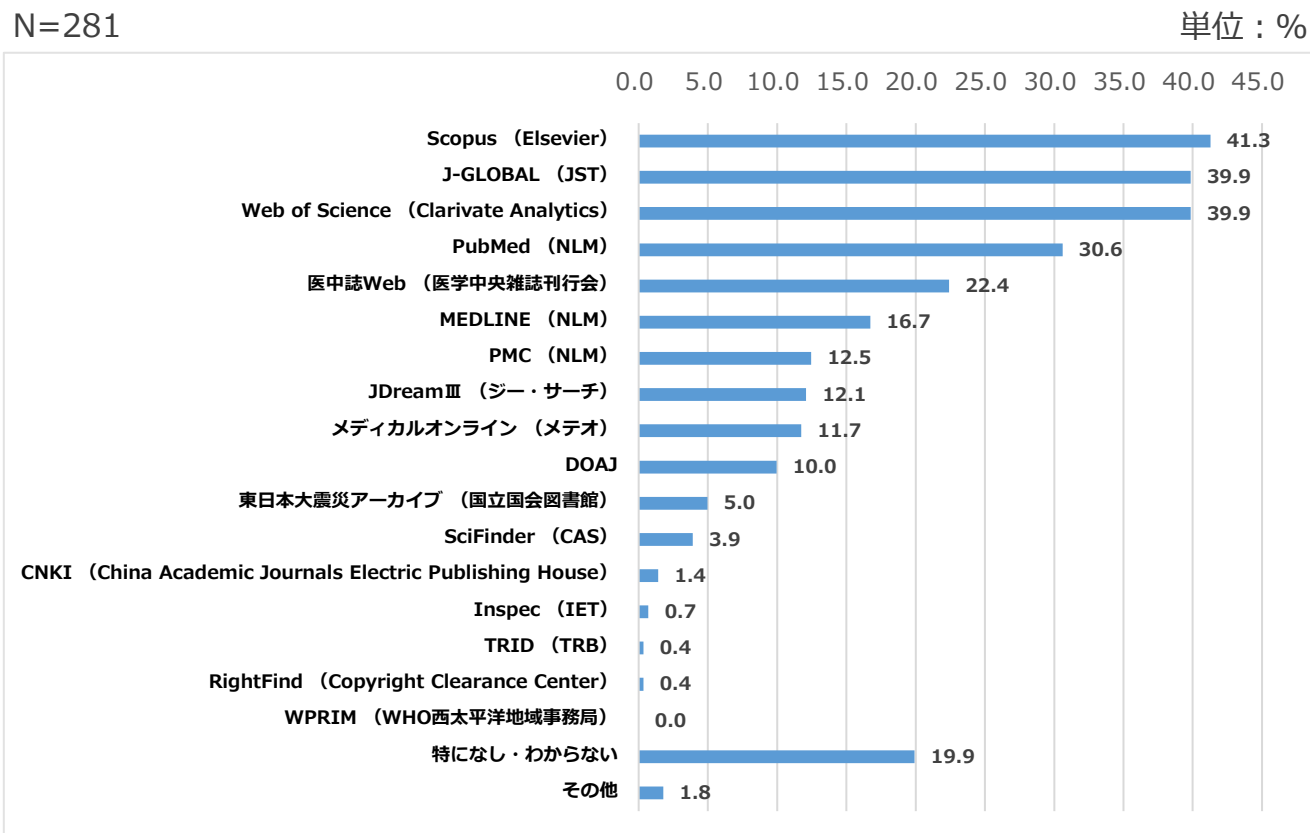
単位：%



■ J-STAGE 外部サービスの中で、インデックスされることで発信力の強化につながるもの

設問5. 以下の外部サービスの中で、インデックスされること（データベースに収載され、検索が可能になること）で貴誌の発信力の強化につながるものを選んでください。選択肢にない場合は、「19. その他」を選択してください。【複数選択可】

● インデックスされることで発信力の強化につながる外部サービスとして、「Scopus（Elsevier）」が41.3%、と最も高く、次いで「J-GLOBAL（JST）」、「Web of Science（Clarivate Analytics）」の39.9%、「PubMed（NLM）」の30.6%の順に続いている。



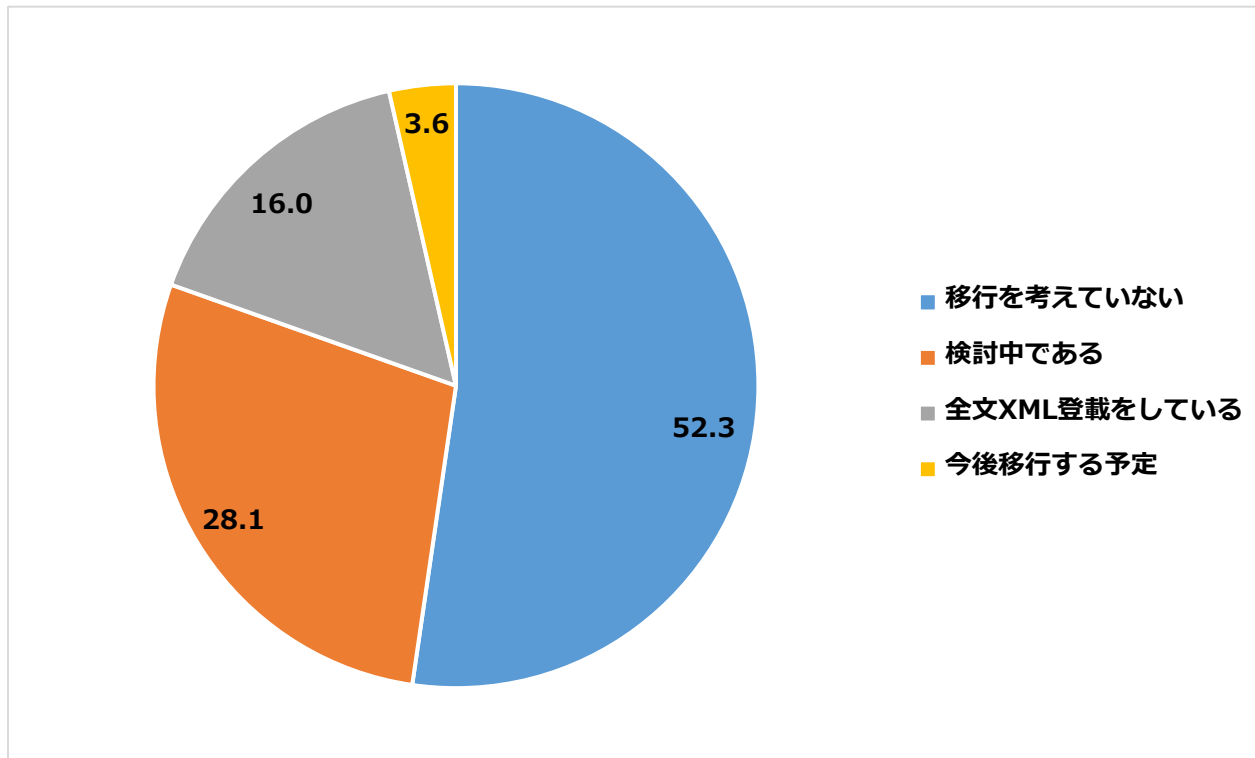
■ J-STAGE 全文XML登載状況

設問6. 貴誌の全文XML登載状況について最も当てはまるものを選んでください【1つ選択】

● J-STAGE全文XML登載について、「移行を考えていない」が52.3%と最も高く、次いで「検討中である」の28.1%、「全文XML登載をしている」の16.0%の順に続いている。

N=281

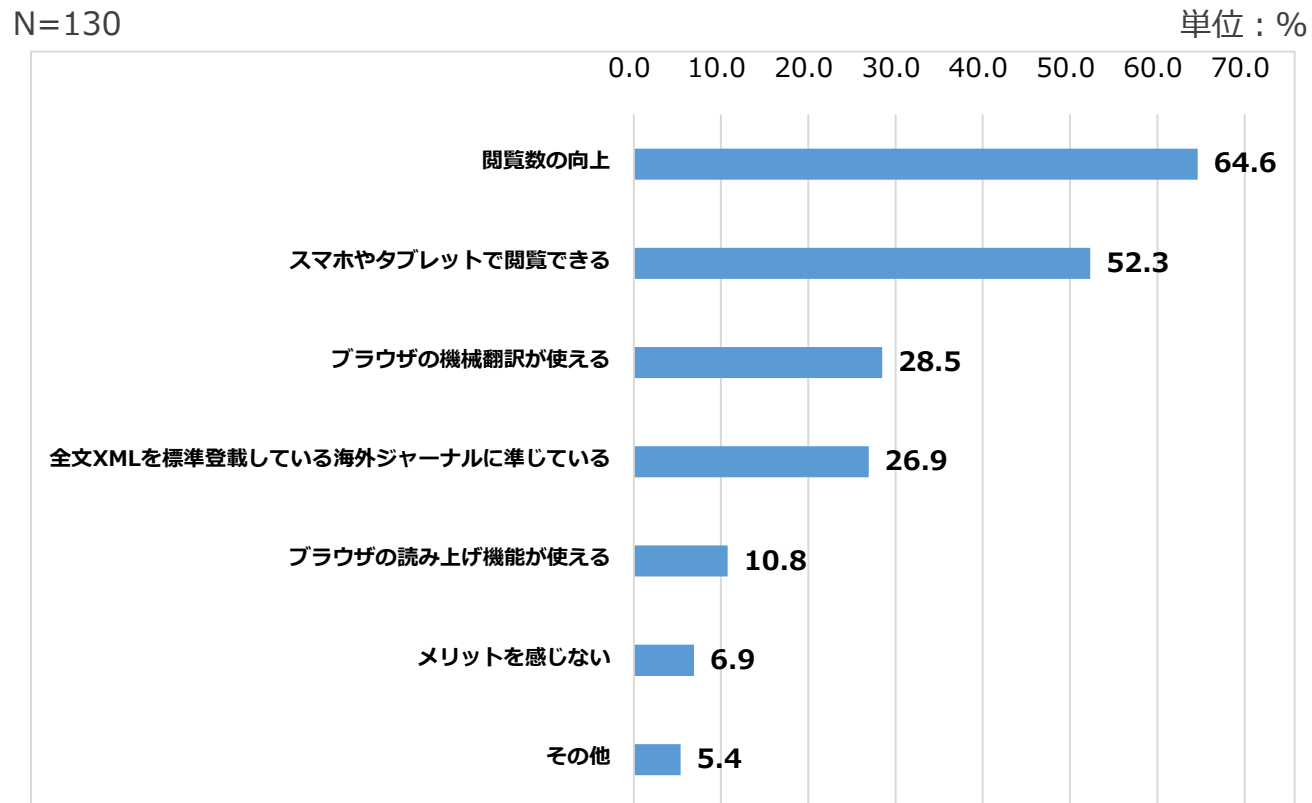
単位：%



■ J-STAGE 全文XML登載によって得られた、あるいは期待できる効果

設問7. 全文XML登載によって得られた、あるいは期待できる効果を選んでください。【複数選択可】

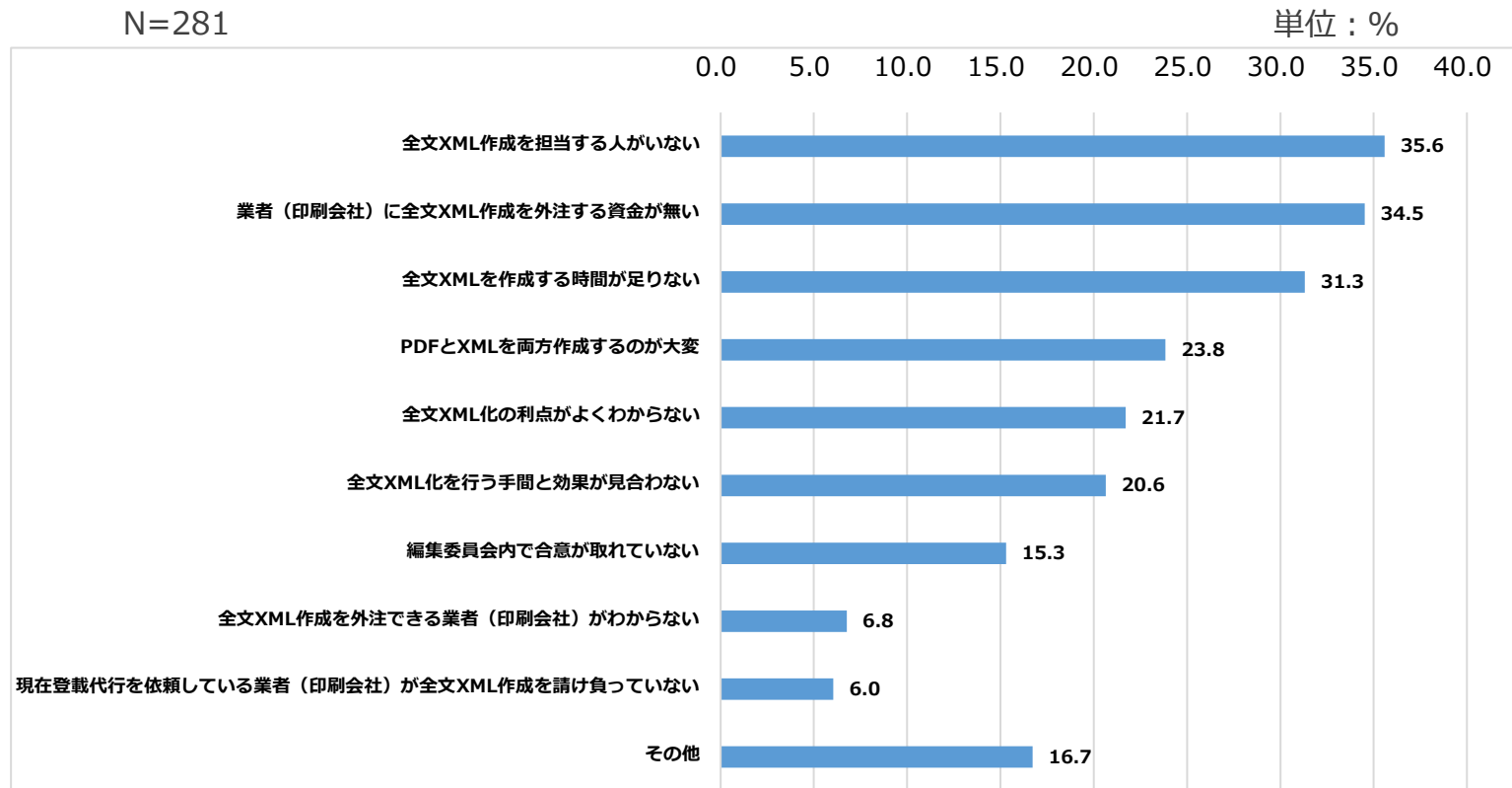
● J-STAGEの全文XML登載の効果について、「閲覧数の向上」が64.6%と最も高く、次いで「スマホやタブレットで閲覧できる」の52.3%、「ブラウザの機械翻訳が使える」の28.5%の順に続いている。



■ J-STAGE 全文XML登載で感じているデメリット、全文XML登載を利用していない理由

設問8. 全文XML登載で感じているデメリットや、または全文XML登載を利用していない理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEの全文XML登載のデメリットについて、「全文XML作成を担当する人がいない」が35.6%と最も高く、次いで「業者（印刷会社）に全文XML作成を外注する資金が無い」の34.5%、「全文XMLを作成する時間が足りない」の31.3%の順に続いている。



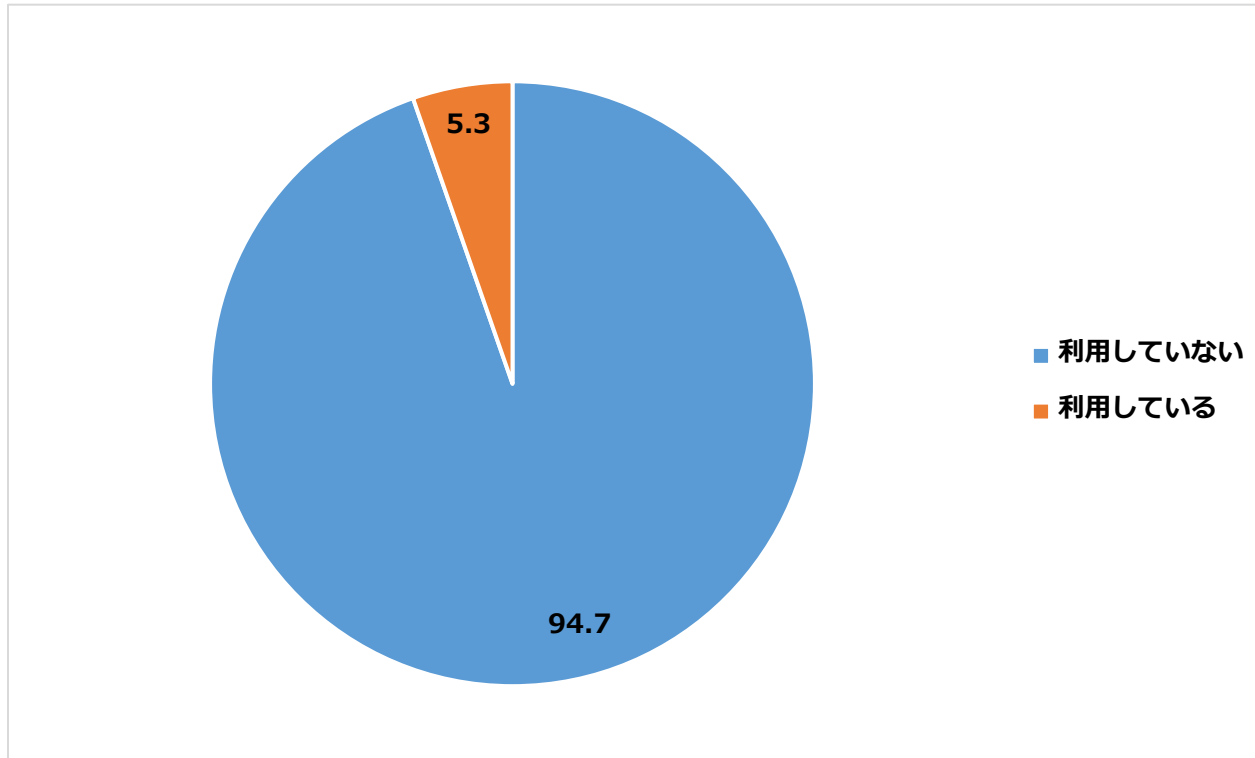
■ J-STAGE 全文XML作成ツール利用状況

設問9. J-STAGEが提供している「全文XML作成ツール」を利用していますか。【1つ選択】

● J-STAGEの全文XML作成ツールについて、「利用していない」が94.7%と大半を占めた。「利用している」は5.3%に留まった。

N=281

単位：%



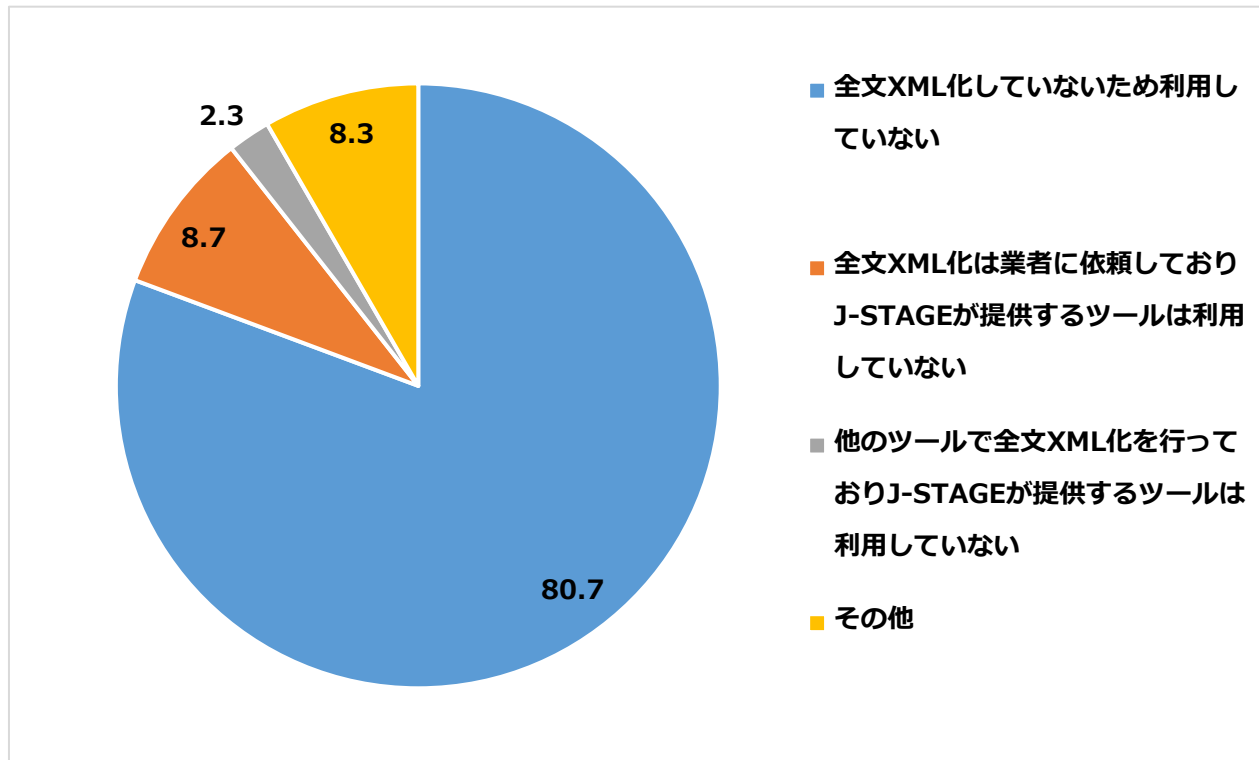
■ J-STAGE 全文XMLツールを利用していない理由

設問10. J-STAGEが提供している「全文XML作成ツール」を利用していない理由を選んでください。【1つ選択】

● J-STAGEの全文XMLツールを利用していない理由は、「全文XML化していないため利用していない」が80.7%と最も高く、次いで「全文XML化は業者に依頼しておりJ-STAGEが提供するツールは利用していない」の8.7%、「他のツールで全文XML化を行っておりJ-STAGEが提供するツールは利用していない」の2.3%の順に続いている。

N=264

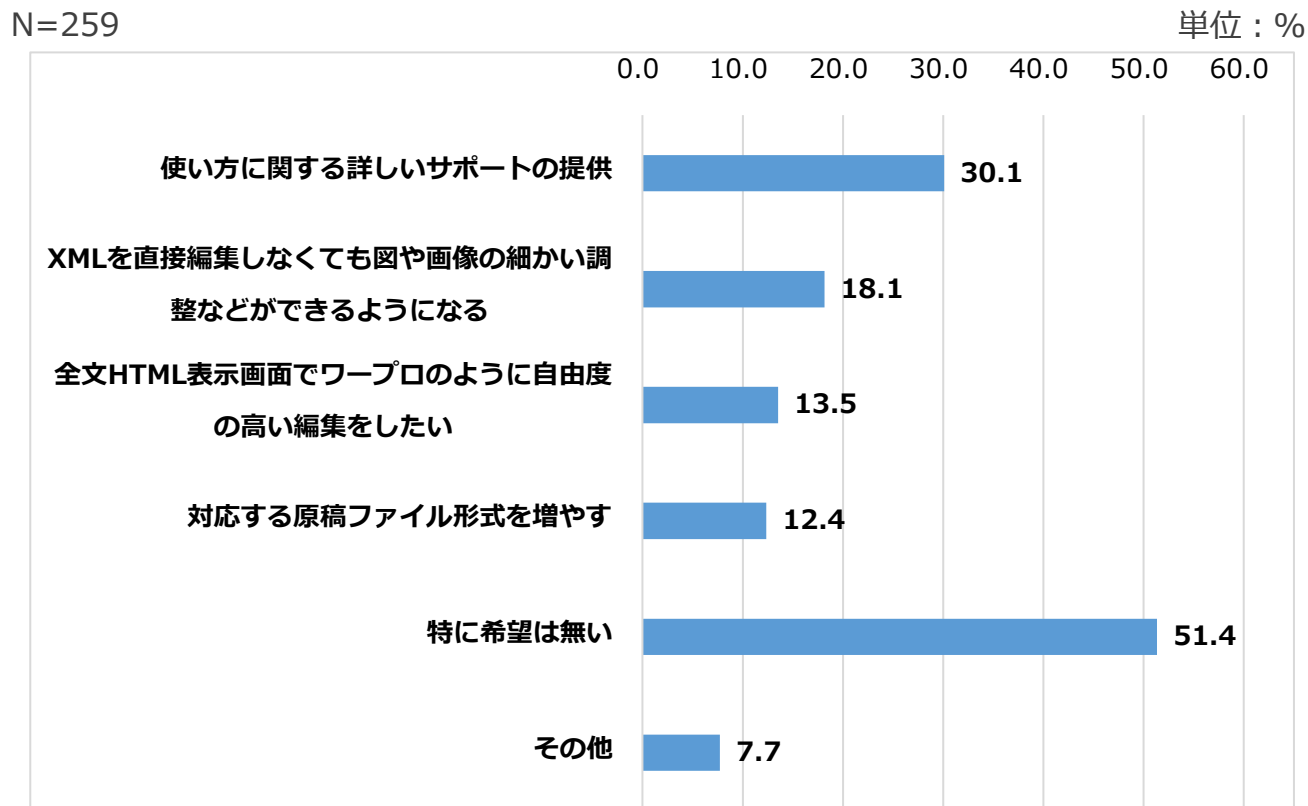
単位：%



■ J-STAGE 全文XMLツールにどのような改善がされれば使いたいと思うか

設問11. 全文XMLツールにどのような改善がされれば使いたいと思いますか。 登載作業者の意見を聞いてお答えください。【複数選択可】

● J-STAGEの全文XMLツールにどのような改善がされれば使いたいと思うかは、「使い方に関する詳しいサポートの提供」が30.1%と最も高く、次いで「XMLを直接編集しなくても図や画像の細かい調整などができるようになる」の18.1%、「全文HTML表示画面でワープロのように自由度の高い編集をしたい」の13.5%の順に続いている。「特に希望は無い」は51.4%であった。



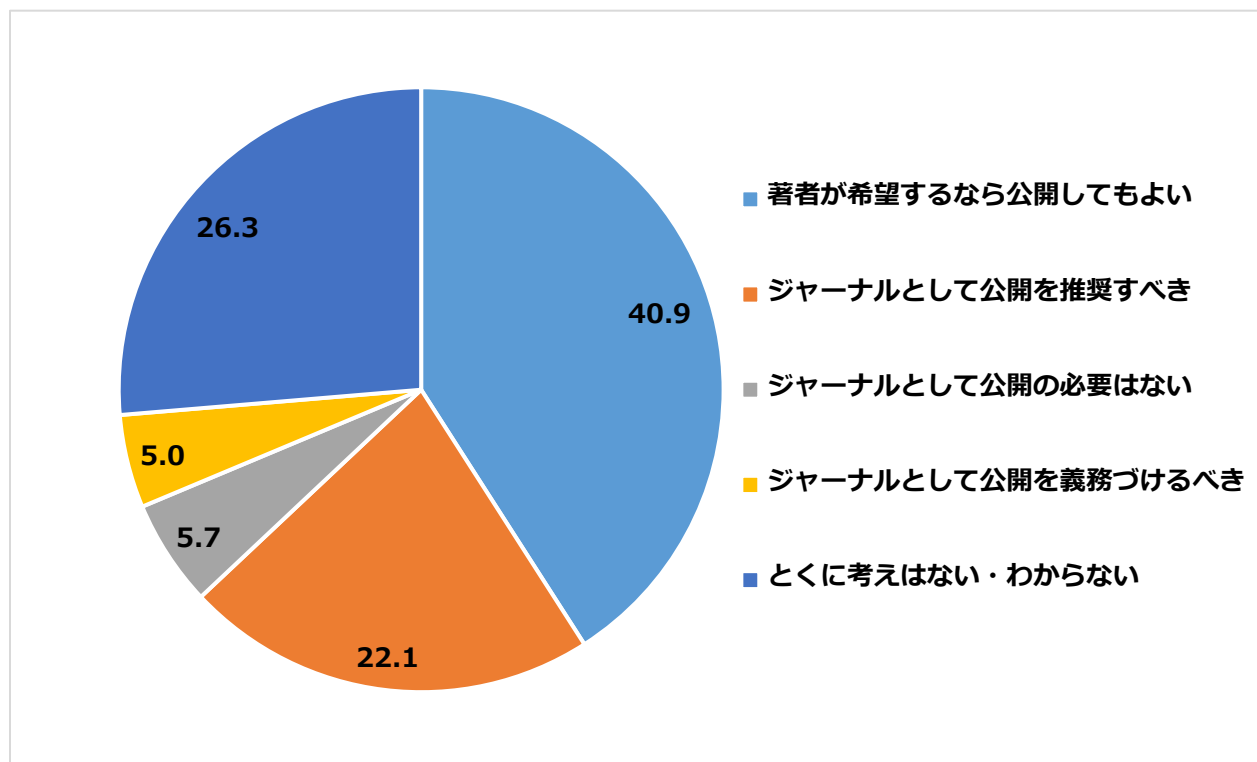
■ J-STAGE 論文に関連する研究データの公開についての考え

設問12. 論文に関連する研究データの公開について、どのように考えていますか。【1つ選択】

● 論文に関連する研究データの公開について、「著者が希望するなら公開してもよい」が40.9%と最も高く、次いで、「ジャーナルとして公開を推奨すべき」の22.1%、「ジャーナルとして公開の必要はない」の5.7%の順に続いている。

N=281

単位：%



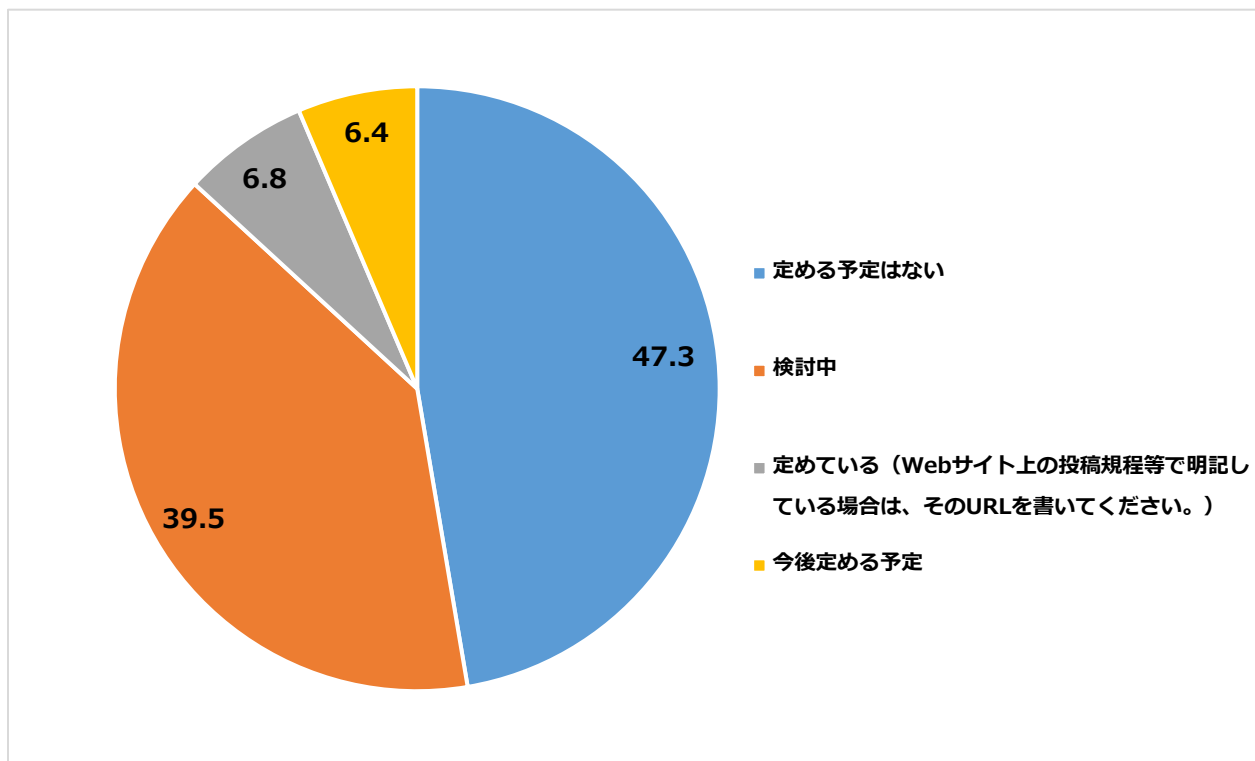
■ J-STAGE 論文に関連する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めているか

設問13. 論文に関連する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めていますか。【1つ選択】

● 研究データの取扱い規程について「定める予定はない」が47.3%と最も高く、次いで「検討中」の39.5%、「定めている」の6.8%の順が続いている。

N=281

単位：%



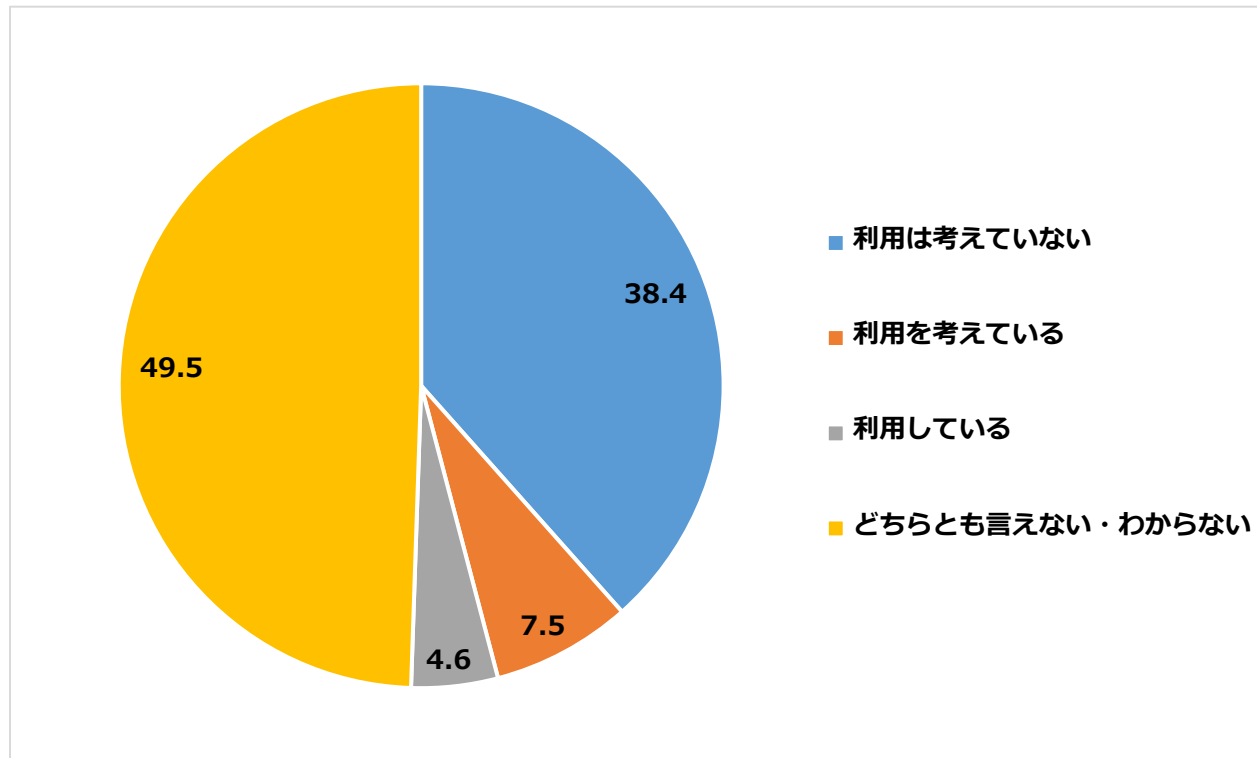
■ J-STAGE Data利用状況

設問14. J-STAGE Dataを利用していますか。【1つ選択】

● J-STAGE Data利用状況について、「利用は考えていない」が38.4%と最も高く、次いで「利用を考えている」の7.5%、「利用している」の4.6%の順に続いている。「どちらとも言えない・わからない」は49.5%であった。

N=281

単位：%



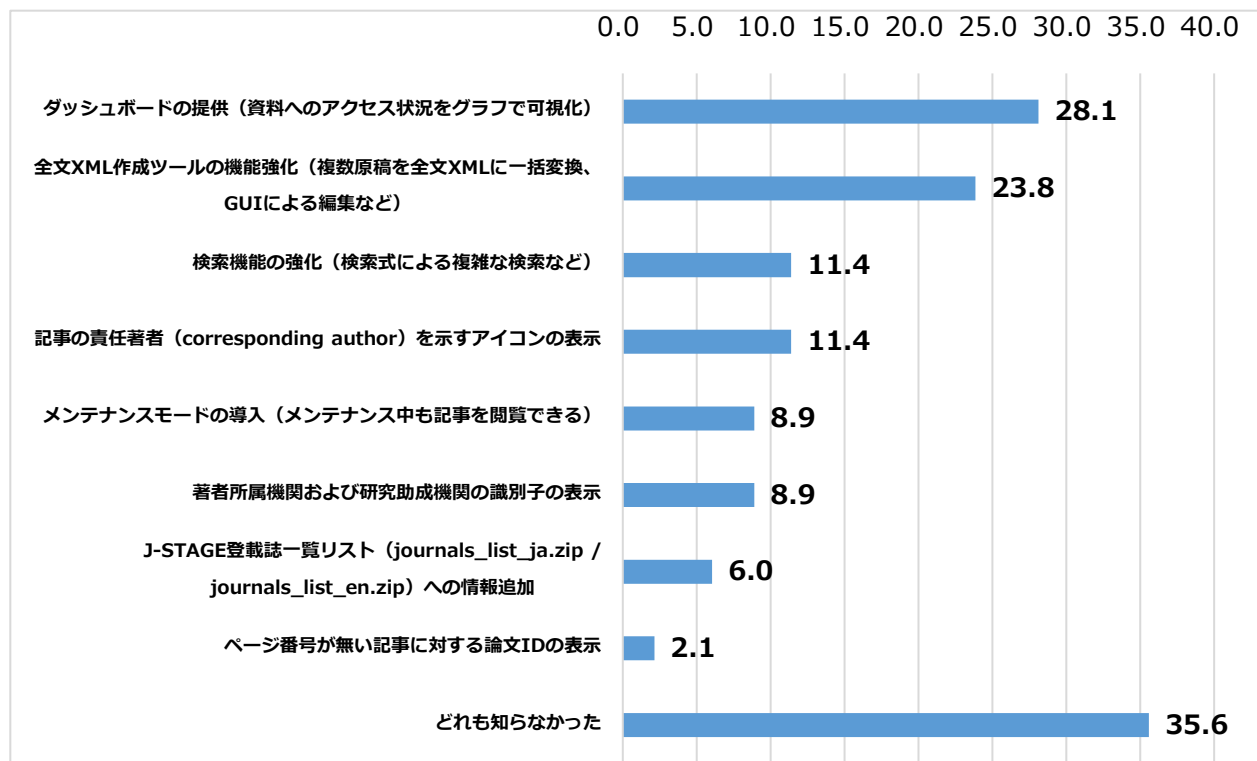
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、知っていたもの

設問15. 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、知っていたものを選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEの直近1年間のアップデートについて、「ダッシュボードの提供（資料へのアクセス状況をグラフで可視化）」が28.1%と最も高く、次いで「全文XML作成ツールの機能強化（複数原稿を全文XMLに一括変換、GUIによる編集など）」の23.8%、「検索機能の強化（検索式による複雑な検索など）」の11.4%の順に続いている。「どれも知らなかった」は35.6%であった。

N=281

単位：%



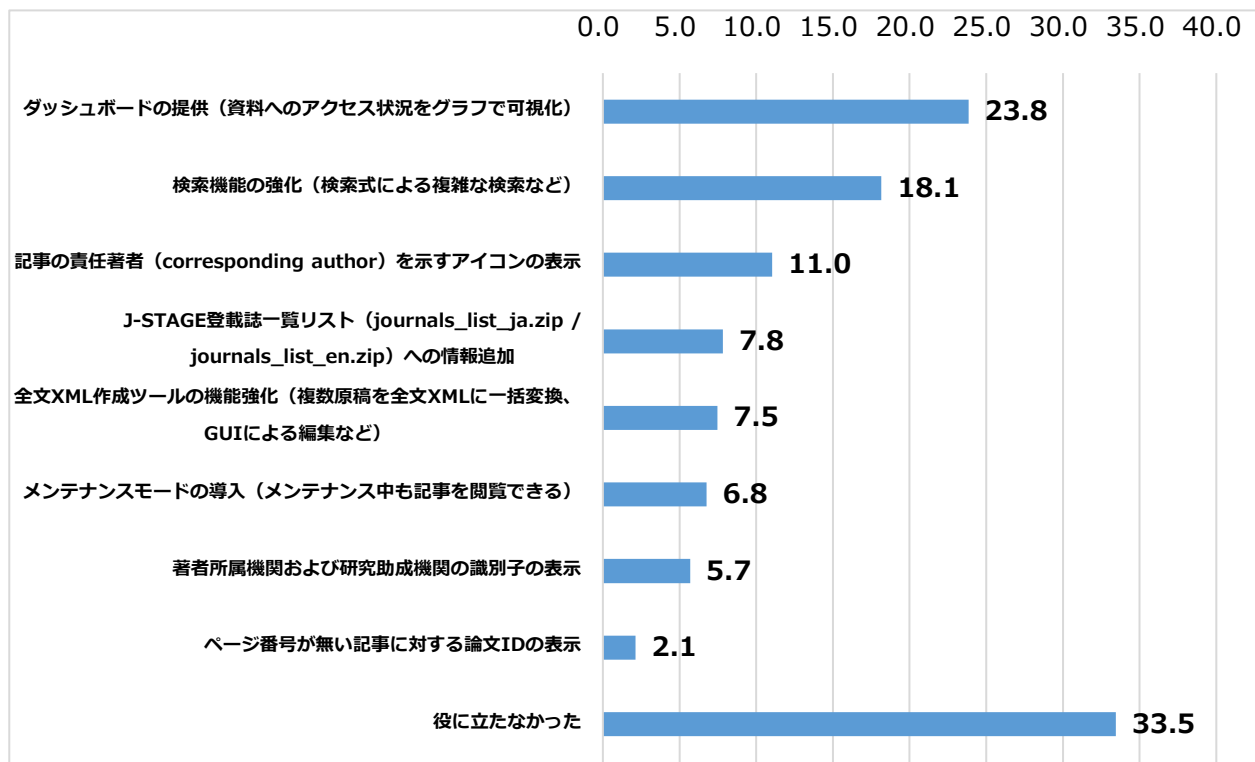
■直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、役に立ったもの

設問16. 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、役に立ったものを選んでください。【複数選択可】

●J-STAGEで直近1年間にアップデートを行った機能のうち、役に立ったものについて、「ダッシュボードの提供(資料へのアクセス状況をグラフで可視化)」が23.8%と最も高く、次いで「検索機能の強化(検索式による複雑な検索など)」の18.1%、「記事の責任著者(corresponding author)を示すアイコンの表示」の11.0%の順に続いている。「役に立たなかった」は33.5%であった。

N=281

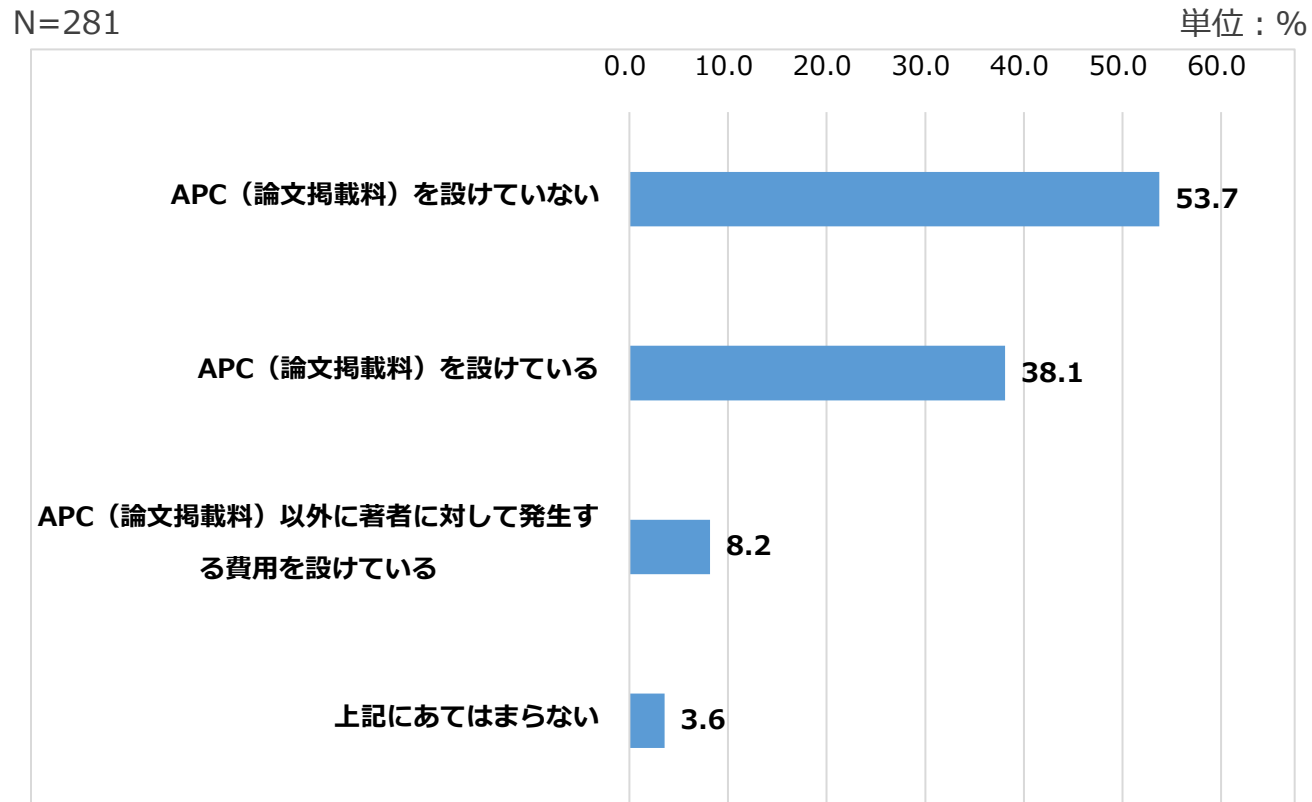
単位：%



■ J-STAGE APC（論文掲載料）設定

設問17. 貴誌のAPC（論文掲載料）設定について当てはまるものを選んでください。【複数選択可】

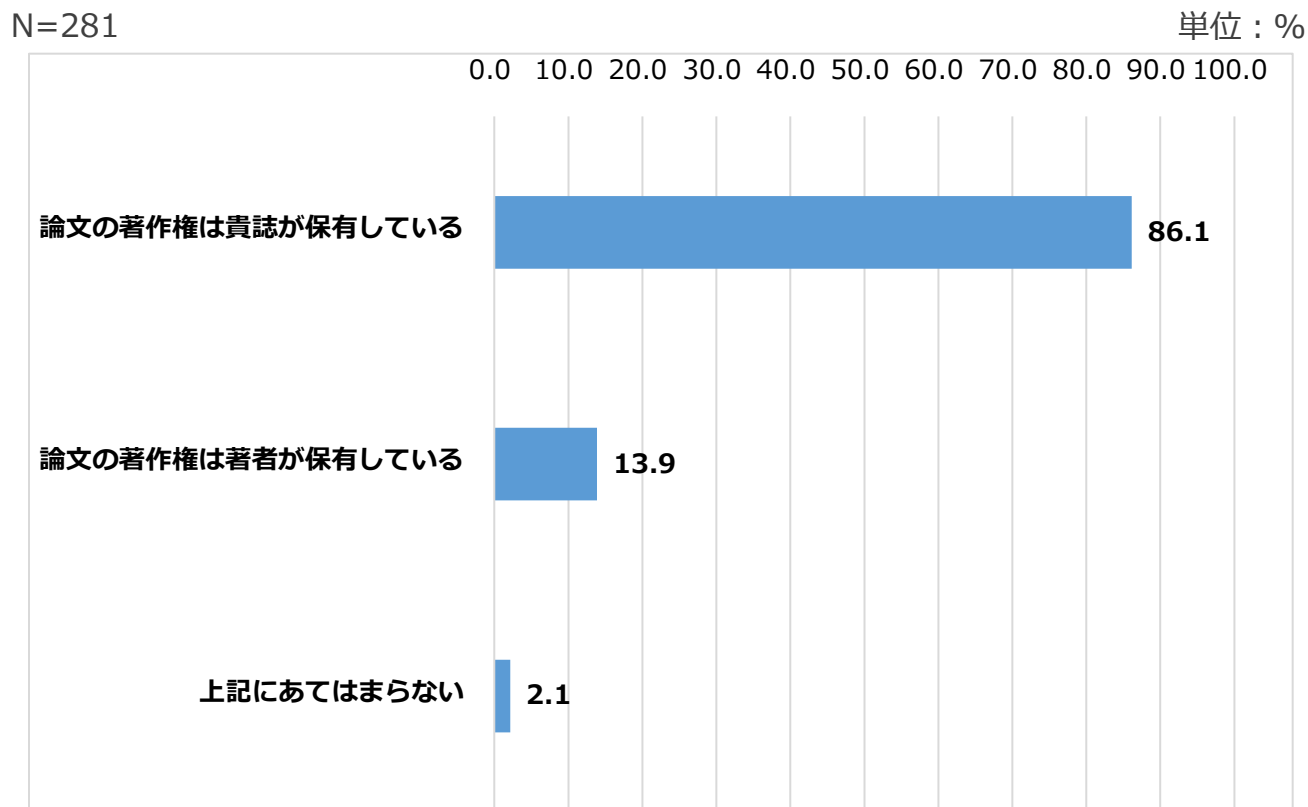
● APC（論文掲載料）設定について、「APC（論文掲載料）を設けていない」が53.7%と最も高く、次いで「APC（論文掲載料）を設けている」の38.1%、「APC（論文掲載料）以外に著者に対して発生する費用を設けている」の8.2%の順に続いている。



■ J-STAGE 著作権の規程

設問18. 貴誌の著作権の規程について当てはまるものを選んでください。【複数選択可】

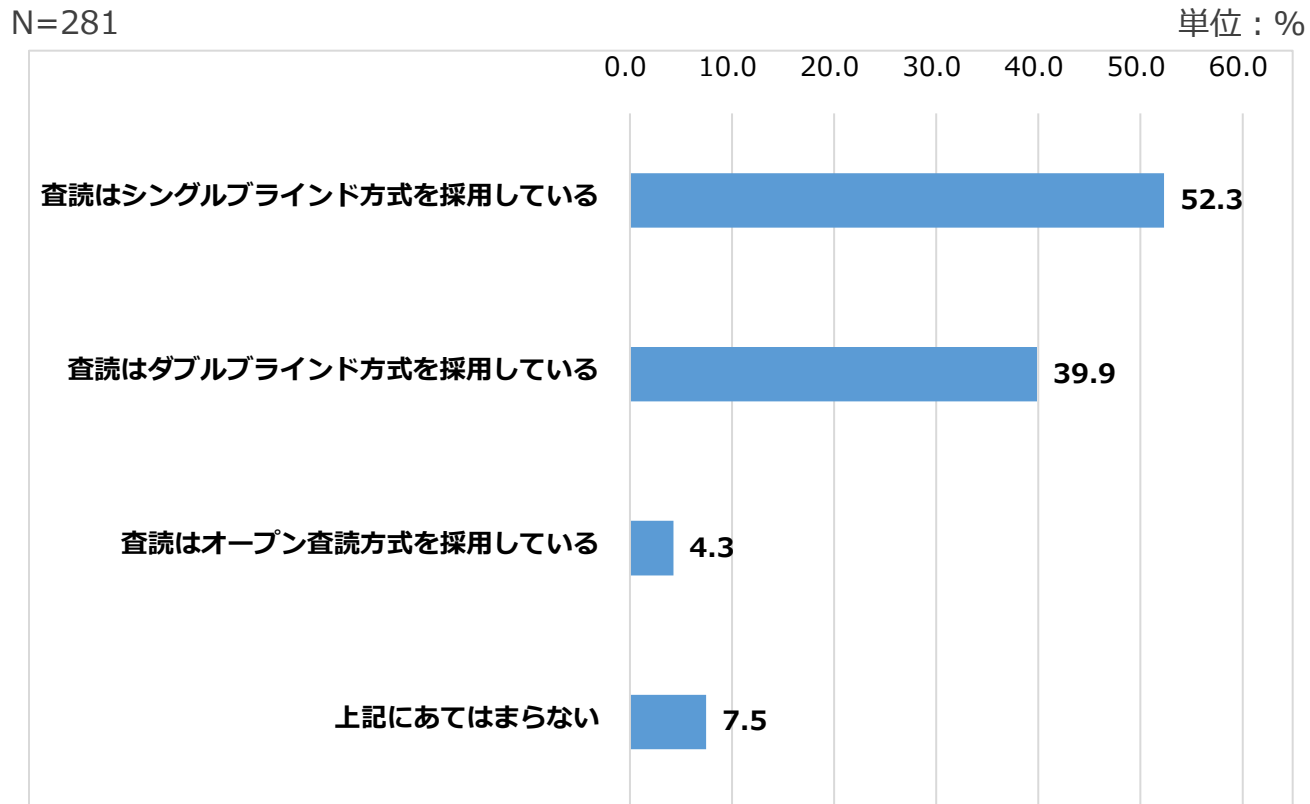
● 著作権の規程について、「論文の著作権は貴誌が保有している」が86.1%と最も高く、次いで「論文の著作権は著者が保有している」の13.9%、「上記にあてはまらない」の2.1%の順が続いている。



■ J-STAGE 査読方式

設問19. 貴誌の査読方式について当てはまるものを選んでください。【複数選択可】

● 査読方式について、「査読はシングルブラインド方式を採用している」が52.3%と最も高く、次いで「査読はダブルブラインド方式を採用している」の39.9%、「査読はオープン査読方式を採用している」の4.3%の順に続いている。



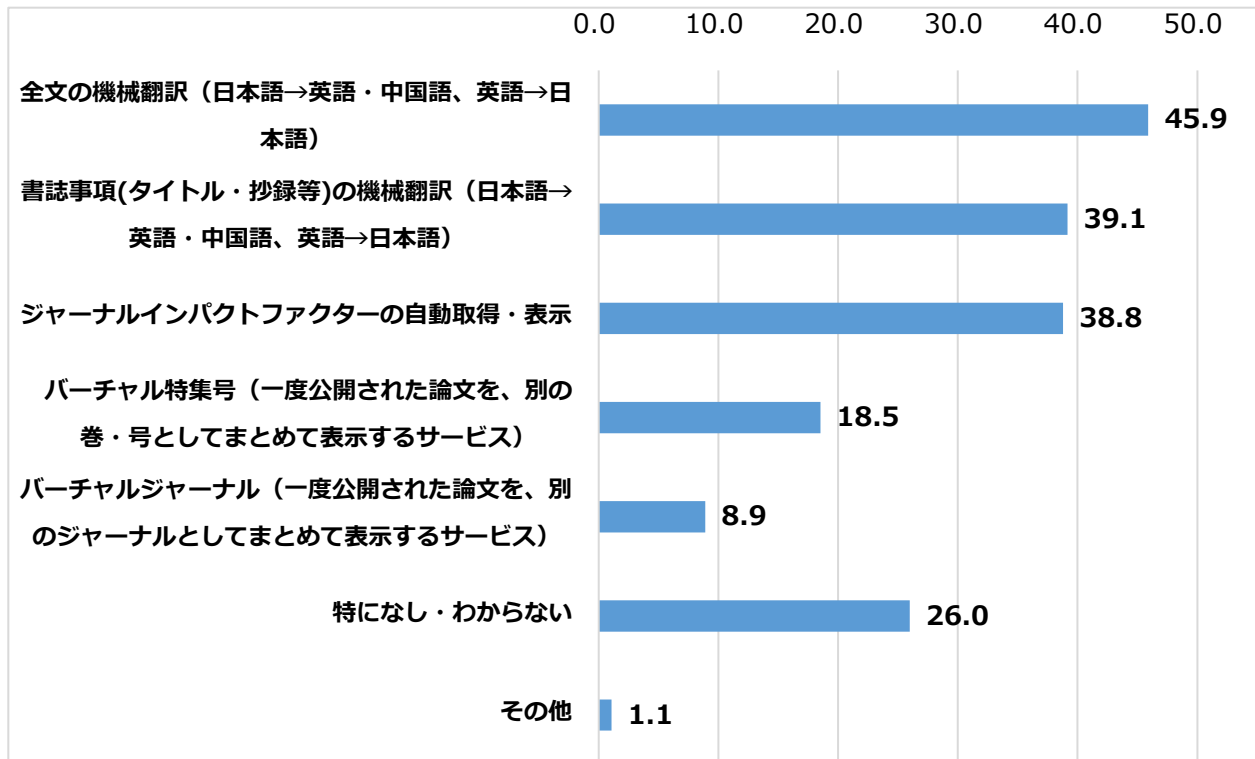
■役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービス

設問20. 貴誌にとって役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービスを選んでください。【複数選択可】

●役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービスとして、「全文の機械翻訳（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」が45.9%と最も高く、次いで「書誌事項(タイトル・抄録等)の機械翻訳（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」の39.1%、「ジャーナルインパクトファクターの自動取得・表示」の38.8%の順に続いている。

N=281

単位：%



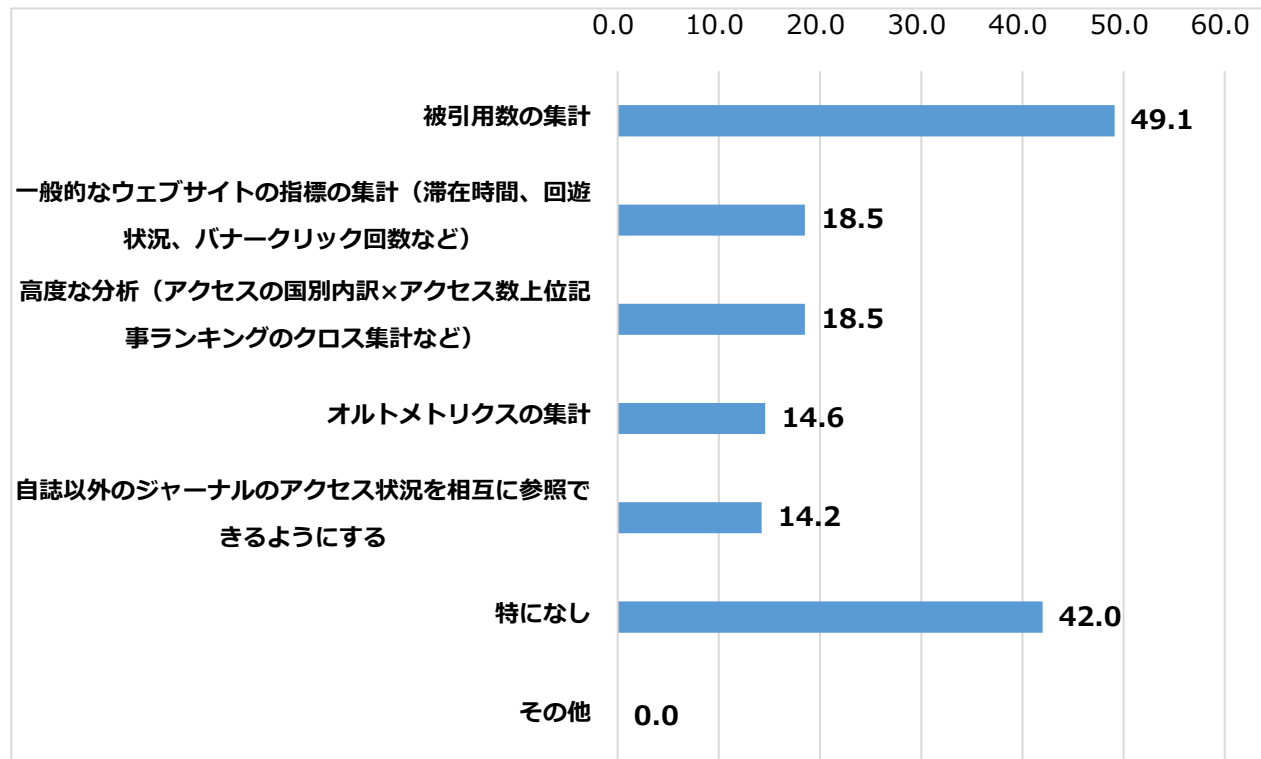
■ J-STAGE ダッシュボード機能の機能拡張について意見・希望

設問21. J-STAGEでは、登載誌発行機関向けに資料へのアクセス状況をグラフで可視化するダッシュボード機能を提供しています。本機能の機能拡張についてご意見・ご希望があれば以下から番号を選択してください。【複数選択可】

● J-STAGEのダッシュボード機能拡張についての意見として、「被引用数の集計」が49.1%と最も高く、次いで「一般的なウェブサイトの指標の集計（滞在時間、回遊状況、バナークリック回数など）」、「高度な分析（アクセスの国別内訳×アクセス数上位記事ランキングのクロス集計など）」の18.5%の順が続いている。

N=281

単位：%



■ J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容

設問22. J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容として、「J-STAGEの活用法」が38.7%と最も高く、次いで「オープンアクセス」、「著作権・CCライセンス」の38.2%、「他ジャーナルの動向」の24.9%の順に続いている。

N=173

単位：%

